ＡＬＩＮＣＯ　ＤＪ－Ｘ１１をご愛用頂き、誠に有り難うございます。
本ソフトウエアは別売のオプションケーブルを接続頂くことで、パソコンのキーボードやプログラム上からＤＪ－Ｘ１１の主な機能をコントロールできるものです。

■ご使用について
＊ ダウンロードされたすべてのファイルは、お客様の責任においてご使用ください。万一お客様に損害が生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。
＊ すべてのダウンロードファイルについての著作権を含むすべての権利は、アルインコ株式会社に帰属します。
＊ 本ソフトウエアはフリーウエアですが、ダウンロードしたファイルは、個人で使用される以外にはお使いになれません。
＊ ダウンロードされたファイル自体のプログラミングに関する内容や質問、及びサポートは行いませんのでご了承ください。　バグと思われる内容については、edomestic@alinco.co.jp　宛て、メールでお知らせください。
＊ ファイルの内容は、製品の仕様変更などで予告なく改良及び変更される場合があります。変更した内容は、新しいアップデート版として提供します。
＊ ダウンロードされたファイルの再配布、他のメディアなどへの転載、販売、及びダウンロードリンクの個人インターネット媒体への掲載・リンクは禁止させて頂きます。
＊ 本ソフトの配布は予告なく中止または内容を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■実行環境
・OS
WindowsXP、Vista、7
・接続
ERW-8/EDC-174
・対応受信機
DJ-X11

■インストール
ダウンロードされたＺＩＰフォルダには以下のファイルが入っています。
1: Ｘ１１コントローラフォルダ(X11rmt.exe）
2: インストーラーフォルダ(Setup.exe/SETUP.LIST/X11rmt.CAB)
3: 本書
:
・実行ファイルのみをコピーする方法

ほとんどの場合は「Ｘ１１コントローラ」フォルダを適当なディレクトリにコピーして置くだけで使用できます。
アンインストールは同じフォルダに作成された INI ファイルを削除してからフォルダごと削除してください。
この場合、インストーラーフォルダは不要ですから削除して頂いて構いません。

・インストーラーによるインストール
上記の方法はまれに必要なデバイスが不足している場合等で、実行できないことがあります。そのような場合はインストーラーを使用してください。
SETUP.EXE をダブルクリックして画面の指示に従ってインストールしてください。
アンインストールはコントロールパネルのアプリケーションの追加と削除から行ってください。

■　プログラムを実行するまえの設定
【ご注意】ＥＲＷ－７／８をご利用になる前に、必ず「ドライバーソフト」のインストールを終了しておいてください。ドライバーソフトはhttp://www.alinco.co.jp/denshi/10.htmlの「ＰＣ接続ケーブル」コーナーからダウンロードできます。
１：ＤＪ－Ｘ１１のセットモード（ＦＵＮＣキーを押してＳＥＴ／ＣＬＲキーを押す）に入り、＜キー操作設定＞で「リモート通信ポート設定」を有効にします。
２：ＦＵＮＣキーを押してＥＮＴ／ＳＴＥＰキーを押し、ステップの設定を最小の「５０Ｈｚ」に変更します。ＡＵＴＯ状態でＶＦＯのバンドプランが優先されるため、場合によっては入力した周波数がＡＵＴＯのステップに従って変更されてしまうことがあります。又、入力できない周波数が書き込まれた場合、その直近の周波数に変更されることもありますが、異常ではありません。

３：使用する COM ポートをプログラム上のツールバーで指定します。Setting メニュー＞COM ポートに、ERW-8 へ割り当てられたポートを指定してください。
COM ポートの確認はウインドウズのスタートボタン＞コントロールパネル＞システム＞プロパティのハードウエアのタブ＞デバイスマネージャー＞ポート（ＣＯＭとＬＰＴ）でUSB　Serial Port (COM x＜数字、例えば COM4)を見ます。このときのＣＯＭｘの数字がプログラム上で選ぶＣＯＭポート番号です。

■メニューバー
・Panel operation
DJ-X11 の前面部から実際のキーボードを操作する感覚で、マウスをポイントしてクリックすることで遠隔操作をすることができます。

【ご注意】
※下記の操作はできません。
・MAIN、SUB ボタンの長押し操作はできません。
・モニターボタンの長押しはできません。SET メニューでモニターボタンの動作をホールドに変更することでモニターやミュート機能が使えます。

・Tables
DJ-X11 の VFO モードを中心に各種設定を画面上で操作できます。

・Settings
＊COM port
前述の設定項目です。ERW-8 をつなぐ USB ポートを変えると割り当てが変わることがあります。

・Freq. Read Suspend
本プログラムは定期的に DJ-X11 の VFO の周波数を取得して画面上に表示しています。不要な場合はこの機能を停止することができます。
イヤホンジャックからオーディオ信号を取り出して AIS や ACARS 等のデータ通信を受信するときや、受信している音を録音するときは停止にしてください。有効な状態ではパソコンと無線機が定期的にデータをやりとりすることから発生する「ポツポツ」という音が出ますが異常ではありません。尚、停止状態にしていてもコマンド自体は有効で、周波数を切り替るような操作は可能です。あくまでプログラム上の表示に関するパラメータです。

・Help
バージョン番号を表示します。

■Tables
・起動時
周波数や受信モードなどを順次 DJ-X11 から読み出します。

・周波数表示
定期的に DJ-X11 の周波数を取得して表示します。
周波数をクリックすると周波数をキーボードから入力することができます。
一度クリックすると数値全体が範囲指定されるので、そのまま周波数を入力して最後に Enter キーを押すことで確定できます。
表示は０１２３．４５０００のように長いですが、例えば１２３．４５MHｚを入力すると

きは１２３．４５とタイプして Enter キーを押せば入力されます。
DJ-X11で受信できない周波数や現在設定されている STEP 値に適合しない場合は周波数が変更されなかったり、指定に近い周波数に設定されたりする場合があります。

・メインとサブの切替
周波数表示部分、音量スライダ、スケルチスライダおよびその周辺をクリックするとメインとサブを切り替えます。この切替は本プログラムで操作する対象であり、実際の DJ-X11 のメインとサブの切替とは関係ありません。

・プリセットメモリー
メインとサブそれぞれに 10 個ずつ周波数を名前をつけて記憶させることができます。このメモリーは DJ-X11 本体のメモリーとは別のものでパソコン上に記憶して、本プログラムで使用するためのものです。
【使い方】
１：ウインドウ右下の Memory チェックボックスをクリック
２：P1～P10 の内、任意のボタンをクリック。ポップアップしたダイヤログに任意の名称と周波数を入力して OK をクリック
３：使いたいデータを登録したボタンをクリックすると、その設定値を呼び出して DJ-X11 に反映。

【ご注意】受信モードや STEP、メインとサブそれぞれの受信可能周波数範囲などにより実際に受信できない場合があります。
・Output
通常の音声出力（Audio)、検波出力（DET)と IQ 出力の切替を行います。このバージョンではソフトの起動時にはいずれの項目にもチェックが入っていません。IQ 出力に設定した後で他のモードに切り替えるとメインのみのモノバンド状態になります。いずれも X11 が持つコマンドの仕様などに関連するためで、バグではありません。

以上

アルインコ（株）電子事業部
Ver.0.94